

第60号
H25年9月24日

発行 結城地域農業改良普及センター
TEL 0296-48-0184 FAX 0296-48-2682
HP <http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/noucenter/fukyu/yuki/>
<http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/nourinjimu/kensei/yuuki/index.htm>

女性農業士による食農教育活動！

-若手女性農業者を対象としたクッキングスクール-



調理の様子

8月20日に結城地域女性農業士会主催の「農家の若手女性を対象としたクッキングスクール」（結城地域女性農業士会食農教育活動）が開催されました。

加工実習では、夏野菜をテーマとし、女性農業士考案のレシピ「ナスとひき肉煮、ラタトゥイユ、とりささみのしそ揚げ、ゴーヤジュース」の4品を調理しました。協力しながら実習をするなかで、農作業や家族の話等、様々な話題が出ており、和やかな雰囲気での交流が行われました。

試食・情報交換会の中では、自己紹介や講座の感想の発表を行いました。若手女性だけで

なく、女性農業士からも、「新しいレシピはとても参考になった。ぜひ家でも作ってみたい。」という声が多く聞かれました。また、普及センターから、伝統食や6次産業化の事例紹介を行いました。

今後も、普及センターは、女性農業者が女性ならではの知恵や力を出し合い、充実した活動を行えるよう支援していきます。



若手先輩農業者に学ぶ！

-第3回農業学園アグリ講座、開講-



8月27日、「若手先輩農業者ほ場見学及び情報交換会」をテーマに第3回農業学園アグリ講座を開催し、農業学園生7名が参加しました。

今回は、八千代町で中国人技能実習生を受け入れ、葉物野菜を中心とした経営を行っている渡邊氏と、普通作を中心にブドウも栽培している坂野氏宅を訪れました。

お二人からは契約栽培の概要や栽培管理において心がけていること、また4Hクラブや青年部の活動内容などについて話を伺った後、実際にはほ場を見学しました。農業学園生からは「ナスの仕立て方はV字のほうが良いのか？」「直売所の運営方法は？」など栽培技術や経営内容に関することのほかに「仕事とプライベートを両立させるためには？」などの質問があり、楽しい雰囲気での情報交換が行われました。

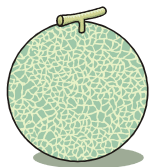
普及センターでは、本講座をきっかけに身近に相談できる仲間を増やすことで、若手農業者の栽培技術等の向上支援をしていきます。



ほ場見学の様子

左：渡邊氏（ナス）

右：坂野氏（ブドウ）



見た目よし、味よし、値段よし！

JA常総ひかり八千代地区メロン部会の春メロン



7月29日、JA常総ひかり八千代地区メロン部会の春メロン実績検討会が行われました。全出荷量の70%を占めるタカミメロンは、ネットの張りも良く糖度も十分で品質が安定し、需要の多い階級（2L，3L）中心の出荷となりました。生産者のきめ細かな栽培管理や八千代地域農畜産物生産流通販売対策協議会による市場PR、収穫予定ほ場での糖度検査、正確な情報による計画的出荷により、プリンス、キンショー、クインシーメロン等を加えた平均単価は、近年では最高値になりました。普及センターからは、土壌病害に強く品質の高いメロン台木試験の検討結果について情報提供しました。全国的にメロン作付け面積が減少傾向にありますが、関係機関と連携をとりながら、産地の振興に向けて活動を継続していきます。



市場PRの様子

『茨城を食べよう！県西うまいもん市』が開催されます！

茨城県西地域の野菜・果物・加工品が勢揃いする「茨城を食べよう！県西うまいもん市」が今年も開催されます。食欲の秋にふさわしい、今が旬の「うまいもん」を楽しんでみてはいかがでしょうか。

- ・日時：平成25年10月14日（月・祝） 10時から16時
- ・場所：イーアスつくば カツラギロード
- ・イベント内容

- ①常陸牛、旬の野菜サラダバー 無料試食（無くなり次第終了）
- ②プレゼント抽選（アンケートに答えると豪華景品がもらえるチャンスが！）

「常陸牛加工品、ローズポーク加工品、アールスメロン、大洗水族館入場券、やちよ乃湯 憩遊館招待券、ピアスパーク下妻温泉入浴券」等

- ③県西地域の「ゆるキャラ」が大集合！
- ・八千代町「八菜丸（はなまる）」 結城市「まゆげった」等



茨城県マスコット ハッスル黄門



お問い合わせ先：県西農林事務所 企画調整部門 企画調整課
TEL：0296-24-9164

病害虫ノート

アブラナ科野菜の厄介者！ -ハイマダラノメイガ-

ダイコンシンクイムシとも呼ばれ、幼虫がダイコン、ハクサイ、キャベツなどのアブラナ科野菜を加害します。幼虫は幼植物の芯部に寄生し、生長点付近の新葉をつづり合わせて食害します。

幼苗期に加害されると芯止まりになるので、早期発見、早期防除に努めましょう。特に、今年のような夏期の気温が高い年や、は種期が早い作型の場合は被害が大きくなりやすいので、注意が必要です。



幼虫